取扱説明書

PN401C-JP

OPTICAM LCコネクタ

製品番号: FLCSMCXAQY、FLCDMCXAQY、FLCSMC5BLY、FLCSSCBUY、FLCDMC5BLY、FLCSMC6BLY、FLCDMC6BLY、FLCDSCBUY、FLCSMC5BLY-C、FLCSSCBUY-C、FLCSMCXAQY-C

Keyed LCコネクタ製品番号: 下記表参照

Panduit Corporation Japan Branch

作業を始める前によくお読みください。最新情報についてはウェブサイトをご参照ください。

構成部品一覧

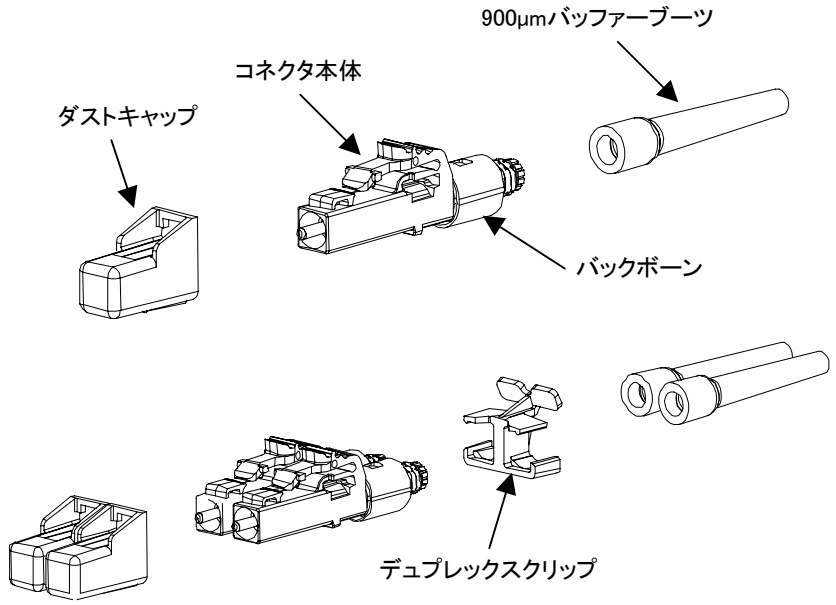
コネクタアセンブリ

シンプレックス →

FLCSMCXAQY
FLCSMC5BLY
FLCSMC6BLY
FLCSSCBUY

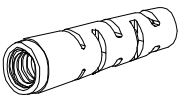
デュプレックス →

FLCDMCXAQY
FLCDMC5BLY
FLCDMC6BLY
FLCDSCBUY

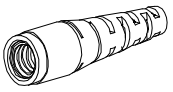


ジャケットブーツは別売りです

3.0mmブーツ
FMCBT3AQ-X
FMCBT3BL-X
FSCBT3BU-X

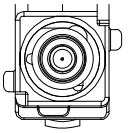
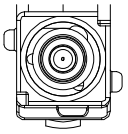
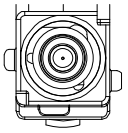
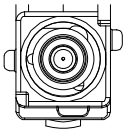
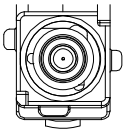
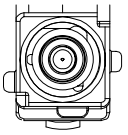


1.6mm-2.0mmブーツ
FMCBT2AQ-X
FMCBT2BL-X
FSCBT2BU-X



コネクタ	バックボーン色	ブーツ色
10GIG 50μm	水色	水色
50μm	黒	黒
62.5μm	アイボリー	黒
シングルモード	青	青

Keyed LCコネクタ製品番号

OPTICAM™ Keyed LCシンプレックスコネクタ型番						
ﾊﾞｯｸﾎﾞｰﾝ色	A-黒	B-赤	C-緑	D-黄	E-橙	F-濃紺
ﾏﾙﾁﾓｰﾄﾞ	FLCSMCxABL	FLCSMCxBRD	FLCSMCxCGR	FLCSMCxDYL	FLCSMCxEOR	FLCSMCxFDB
ｼﾝｸﾞﾙﾓｰﾄﾞ	FLCSSCABL	FLCSSCBRD	FLCSSCCGR	FLCSSCDYL	FLCSSCEOR	FLCSSCFDB
コネクタ前面図						

※型番の1つ目のSをDに変えることで、デュプレックスコネクタ対応になります。
※部品番号のxにはファイバー種から数字を選んでください。**6**(62.5/125μm) **5**(50/125μm) **X**(10*GIG* 50/125μm)

	製品番号	詳細
1	OCTT	OPTICAM工具(VFL機能内蔵)
2	FLCC	OCTT用 LCクレードル
3	FVFLPC-1.25SMY	OPTICAM1.25mmフェルールFVFLパッチコード
4	CST-115	ケーブル外被覆ストリッパー
5	FALC	アルコールボトル
6	FBFSP	バッファーストリッパー
7	FJQCVR	ファイバーカッター
8	FGLS	安全眼鏡
9	FKS	アラミド繊維用はさみ
10	FSTY	ファイバー処理テープ
11	FSWB-C	クリーニング綿棒
12	FWP-C	クロスワイプ
13	PFX-0	マーカーペン
14	---	90vol%以上含有のイソプロピルアルコール(別途用意する必要があります)
OPTIONAL	PN400	ストリッピングテンプレート
OPTIONAL	FJQCVRB	ファイバーカッター替刃

版	制定	作成	承認
C	2008年4月15日	久保	今野

取扱説明書

PN401C-JP

OPTICAM LCコネクタ

製品番号: FLCSMCXAQY、FLCDMCXAQY、FLCSMC5BLY、FLCSSCBUY、FLCDMC5BLY、FLCSMC6BLY、FLCDMC6BLY、FLCDSCBUY、FLCSMC5BLY-C、FLCSSCBUY-C、FLCSMCXAQY-C

Panduit Corporation Japan Branch

目次

ページ

使用上の注意事項・・・

取扱説明書

OPTICAM LCコネクタ

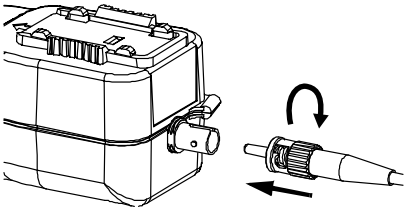
製品番号: FLCSMCXAQY、FLCDMCXAQY、FLCSMC5BLY、FLCSSCBUY、FLCDMC5BLY、FLCSMC6BLY、FLCDMC6BLY、FLCDSCBUY、FLCSMC5BLY-C、FLCSSCBUY-C、FLCSMCXAQY-C

Panduit Corporation Japan Branch

900μmタイトバッファーファイバー成端方法

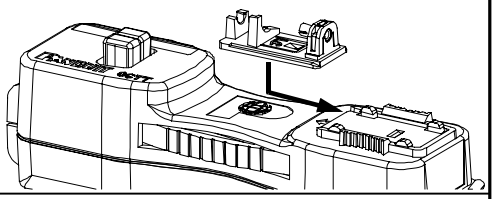
1. OCTTにパッチコードを取り付ける

レーザースイッチが“O”(オフ)にあることを確認し、FVFLPC-1.25SMYコードのSTコネクタのダストキャップを取り外しOCTTツールのSTアダプタ(レーザー発光口)に取り付け、コネクタを右回りに回転させ固定します。



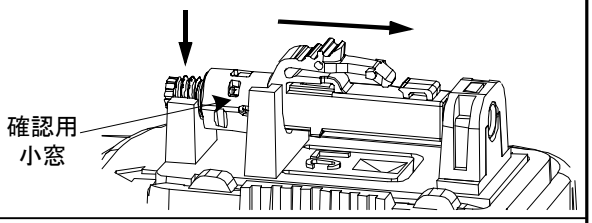
2. コネクタクレードルを取り付ける

LCコネクタクレードルを図のようにOCTTクレードルホルダーにスライドさせ取り付けます。クレードルホルダーは、あらかじめ事前成端位置(図の右側方向)にスライドさせ移動しておきます。



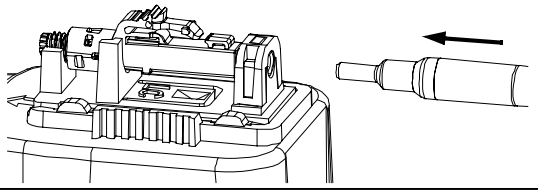
3. クレードルへコネクタを取り付ける

コネクタからダストキャップを取り外します。コネクタの確認用小窓が緑の場合は、使用前にカムレバーを戻してください。(詳細については手順20を参照)コネクタのラッチを上にして、コネクタタブをクレードルの溝にあわせて取り付けます。



4. パッチコードをコネクタフェルールに取り付ける

FVFLPC-1.25SMYパッチコードのフェルールアダプタをコネクタフェルールに取り付けます。

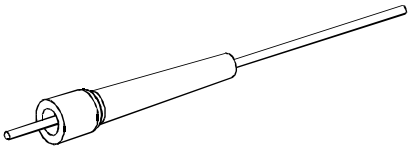


5. 900μmタイトバッファーファイバーを剥く

5.1 900μmブーツにファイバー心線を挿入します。ブーツを後方へスライドしておきます。

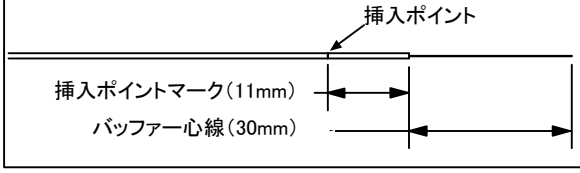
5.2 30mmの印までFBFSPバッファーストリッパーを用い、バッファーを剥きます。

5.3 バッファーの端から15mmのところにマーカーペンで挿入ポイントを印します。



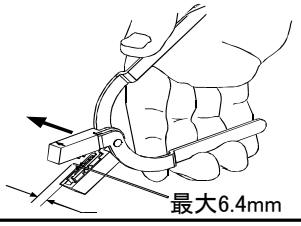
900μmタイトバッファーストリップ方法

重要!印刷状態によって寸法が異なるため、厳密な物差、もしくはPANDUITのプラスチックテンプレートを使用してください。



FBFSP使用方法

- ファイバーが折れないよう、1回の作業で6mm程度剥くようにします。詳しくはケーブルメーカーのガイドラインを参照してください。
- バッファーを剥く方向に、工具の矢印が向くようにストリッパーを持ちます。
- 工具の刃の位置に注意して“V”溝にファイバーを合わせます。
- 使用後はストリッパーの刃を、柄を開いて刃からケースを離して清掃してください。



版	制定	作成	承認
C	2008年4月15日	久保	今野

OPTICAM LCコネクタ

製品番号: FLCSMCXAQY、FLCDMCXAQY、FLCSMC5BLY、FLCSSCBUY、FLCDMC5BLY、FLCSMC6BLY、FLCDMC6BLY、FLCDSCBUY、FLCSMC5BLY-C、FLCSSCBUY-C、FLCSMCXAQY-C

Panduit Corporation Japan Branch

6. ファイバーをカットする

6.1 ファイバーカッター(FJQCVR)が清潔で使用可能な状態か確かめてください。

6.2 ファイバー心線をアルコールに浸したワイプで清掃します。清掃後はファイバーにホコリなどが付着しないよう注意してください。

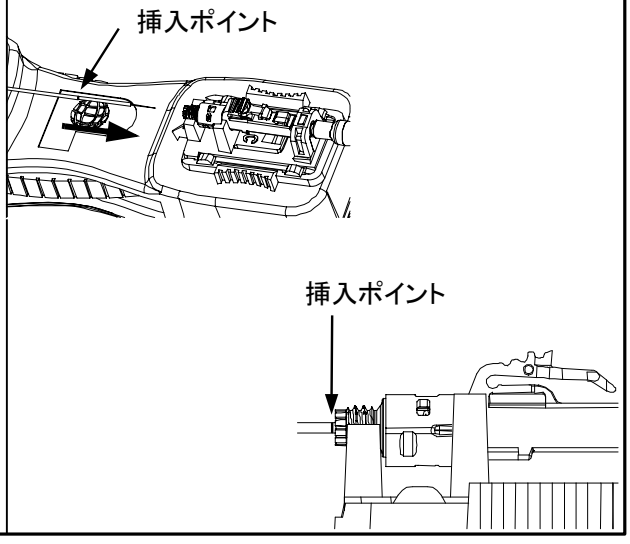
6.3 ファイバーカッターを手に持ち、ファイバークランプレバーを押してファイバークランプを上げます。ファイバーの終端を、ファイバークランプの下にあるV溝に挿入します。ファイバーの終端が7mmのマークの所にきたら、ファイバークランプレバーを離します。

6.4 ベースプレートの溝に沿ってファイバー心線をセットします。図のように片手でファイバーを保持しながら、もう片方の手でハウジングを、先端のセラミック刃がファイバーに当たり、ハウジングがベースプレートに当たるまで下します。
ファイバー心線をセラミック刃で切らないでください。ファイバーにこれ以上刃が接触しないようにハウジングから手を離してください。

6.5 ファイバーを保持したまま、図のようにベースプレートをゆっくりと曲げ、心線をカットします。ファイバーが汚れないよう、清掃後は管理に注意してください。
重要:カット後はファイバーを清掃しないでください。セラミック刃の交換目安は1,000回使用毎です。交換刃(FJQCVRB)を用いて交換してください。

7. ファイバーの挿入

一定の圧力を加えながら、ファイバーが突き当たるまでコネクタ本体に挿入します。強く挿入するとファイバーが破損する恐れがあります。ファイバーは真っ直ぐに挿入してください。挿入ポイントがコネクタの終端と同位置にこない場合は、ファイバーをコネクタから引き戻し、カット長を確認してください。ファイバー長が7mm以下の場合は手順5に戻ってください。カット長が7mmであれば、ファイバーを回転しながらコネクタに挿入してください。



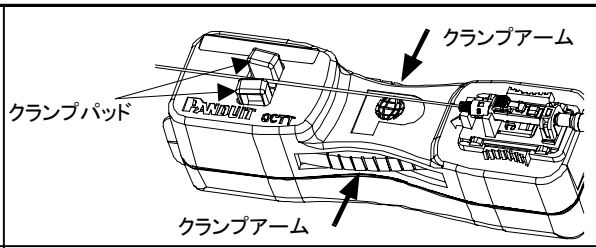
OPTICAM LCコネクタ

製品番号: FLCSMCXAQY、FLCDMCXAQY、FLCSMC5BLY、FLCSSCBUY、FLCDMC5BLY、FLCSMC6BLY、FLCDMC6BLY、FLCDSCBUY、FLCSMC5BLY-C、FLCSSCBUY-C、FLCSMCXAQY-C

Panduit Corporation Japan Branch

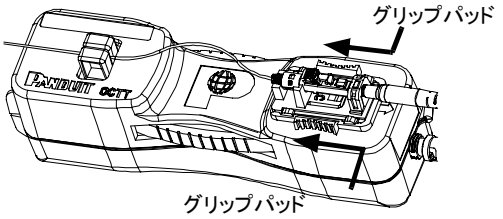
8. ケーブルの固定

クランプアームを握り、クランプパッドを開放します。その後、クランプアームを離し、ファイバーが真っ直ぐになるように固定します。固定した後、挿入ポイントが移動していないことを確認します。



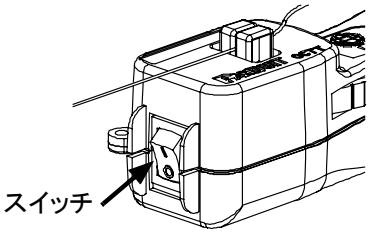
9. クレードルホルダを移動する

クレードルホルダーを図のようにスライドし、ファイバーをたわませます。



10. レーザーのスイッチを入れる

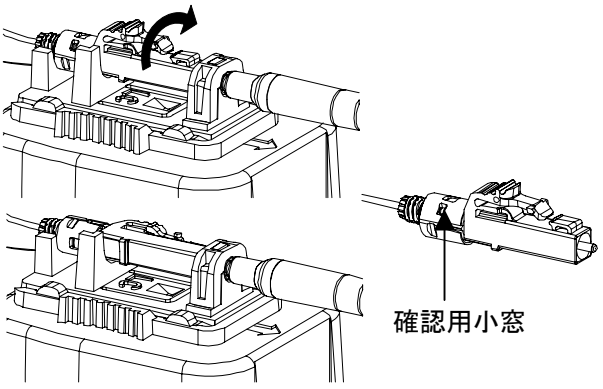
OCTTツールのスイッチを“I”(オン)にします。挿入したファイバーが正しい位置にセットされていれば、コネクタ部が僅かに赤く光ります。通常、シングルモードファイバーは、マルチモードファイバーと比較すると明るく光ります。



11. コネクタをかしめる

コネクタのカムレバーを90度回転させます。コネクタ内の光は殆ど変化が無いか、もしくは減少します。もし、光が明るくなるようであればレーザーのスイッチを切り、手順7よりやり直してください。それでも改善しない場合は、手順5よりやり直してください。

コネクタがしっかりと固定されると、確認用小窓に緑色が表示されます。



12. レーザーのスイッチを切る
OCTTツールのスイッチを“O”(オフ)にします。パッチコードのフェルールアダプタをコネクタから取り外します。

13. パッチコードにダストキャップを取り付ける(該当パッチコードのみ)

14. ケーブルの解除
クランプアームを握り、クランプパッドからファイバーケーブルを取り外します。
注:コネクタはクレードルに取り付けられたままなので、過度に引っ張らないでください。

15. コネクタの取り外し
コネクタをクレードルから外します。

16. クレードルホルダーを戻す
手順9で移動したクレードルホルダーを元の位置に戻します。

OPTICAM LCコネクタ

製品番号: FLCSMCXAQY、FLCDMCXAQY、FLCSMC5BLY、FLCSSCBUY、FLCDMC5BLY、FLCSMC6BLY、FLCDMC6BLY、FLCDSCBUY、FLCSMC5BLY-C、FLCSSCBUY-C、FLCSMCXAQY-C

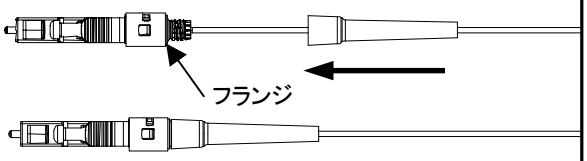
Panduit Corporation Japan Branch

17. ファイバー層の除去

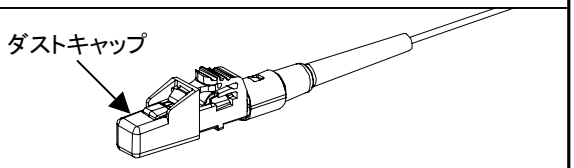
手順6で使用したファイバーカッターに残されたファイバー層を取り除きます。ファイバー層は適切に処理してください。

18. コネクタとブーツの取り付け

18.1 図のように、ブーツをコネクタのフランジに当たるまで差し込んではめます。

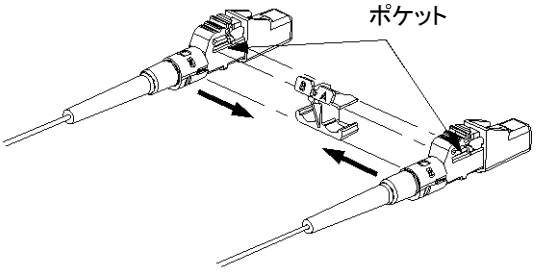


18.2 アルコールに浸したワイプでフェルールの先端をを清掃し、その後乾いたワイプで拭きとります。フェルールにダストキャップを取り付けます。

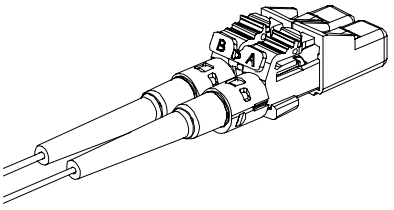


19. デュプレックスクリップの取り付け（該当コネクタのみ）

19.1 図のように、デュプレックスクリップの片方にコネクタをはめます。クリップの上のタブはコネクタのラッチの下にあるポケットに、下のタブはコネクタハウジングの下にはまるようになっています。

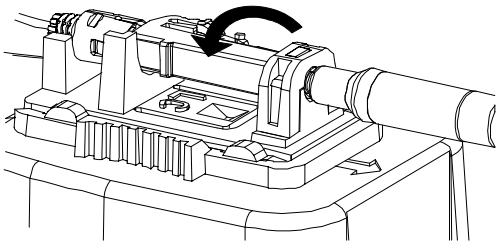


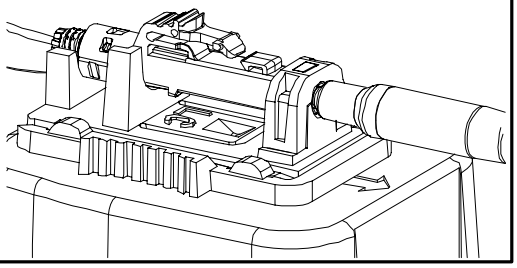
19.2 同様にもう片方のコネクタをはめ、デュプレックスにします。
注:ケーブルアセンブリを作る際、“A->B”の向きに注意してください。



20. 再成端

コネクタは再成端可能です。バックボーンからブーツをスライドして戻し、ダストキャップを外します。ラッチが横に向いた状態でコネクタをLCクレードルにスライドしてはめます。クレードルのフランジにバックボーンがはまっている状態が、コネクタが完全に挿入されている状態です。コネクタを90度回転させて起こします。確認用小窓の緑が消えます。ファイバー心線を取り出し、手順1よりやり直してください。





版	制定	作成	承認
C	2008年4月15日	久保	今野

取扱説明書

PN401C-JP

OPTICAM LCコネクタ

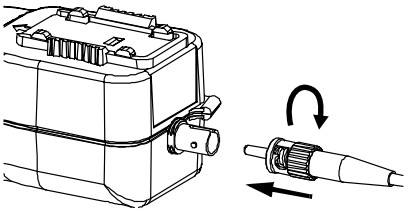
製品番号: FLCSMCXAQY、FLCDMCXAQY、FLCSMC5BLY、FLCSSCBUY、FLCDMC5BLY、FLCSMC6BLY、FLCDMC6BLY、FLCDSCBUY、FLCSMC5BLY-C、FLCSSCBUY-C、FLCSMCXAQY-C

Panduit Corporation Japan Branch

ジャケットケーブル成端方法

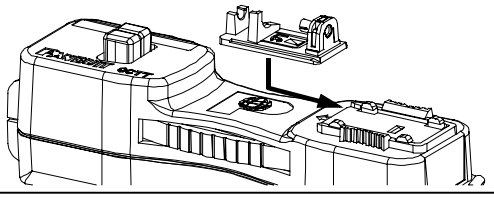
1. OCTTにパッチコードを取り付ける

レーザースイッチが“O”(オフ)にあることを確認し、FVFLPC-1.25SMYコードのSTコネクタのダストキャップを取り外しOCTTツールのSTアダプタ(レーザー発光口)に取り付け、コネクタを右回りに回転させ固定します。



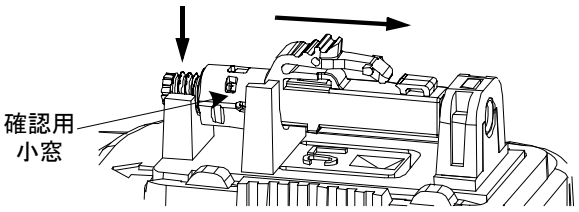
2. コネクタクレードルを取り付ける

LCコネクタクレードルを図のようにOCTTクレードルホルダーにスライドさせ取り付けます。クレードルホルダーは、あらかじめ事前成端位置(図の右側方向)にスライドさせ移動しておきます。



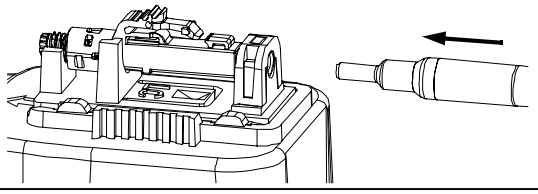
3. クレードルへコネクタを取り付ける

コネクタからダストキャップを取り外します。コネクタの確認用小窓が緑の場合は、使用前にカムレバーを戻してください。(詳細については手順18を参照)コネクタのラッチを上にして、コネクタタブをクレードルの溝にあわせて取り付けます。



4. パッチコードをコネクタフェルールに取り付ける

パッチコードのフェルールアダプタをコネクタフェルールに取り付けます。

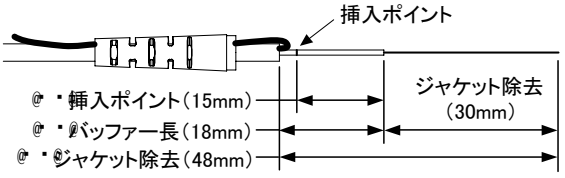


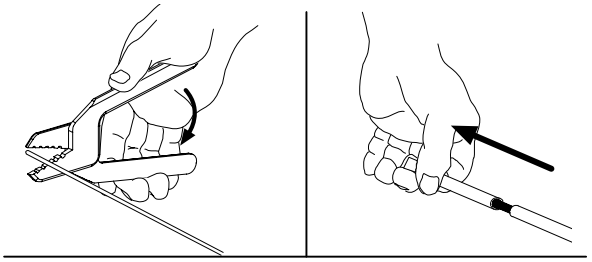
5. ジャケットケーブルを剥く

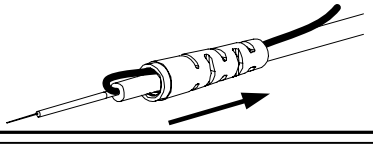
5.1 デュプレクスケーブルの場合、2本のケーブルを約150mm剥きます。
5.2 テンプレート(PN400)を用い、ケーブルの端から48mmのところにマーカーペンで印をつけます。
5.3 印のところまでジャケットを剥きます。ストリッパーの刃が摩損するのでアラミド繊維に沿って刃をスライドさせないでください。被覆を工具で切り、手で剥いてください。3.0mmファイバーには、工具の先から3つ目にある穴(1.3mmまたは16AWG)、1.6mm-2.0mmファイバーには1つ目の穴(.8mmまたは20AWG)を使用してください。
5.4 ケーブル径に適合したブーツの小さい穴側からファイバーを挿入します。ブーツを利用してアラミド繊維を折り返しておきます。
5.5 バッファーを剥くポイント(18mm)と、挿入ポイント(15mm)の2箇所にマーカーペンで印をします。
5.6 マーカーペンを用いてジャケットの端のバッファーに印をつけます。
5.7 バッファーストリッパーを用い、バッファー長の印までバッファーを剥きます。

ジャケットケーブルストリップ方法

重要!印刷状態によって寸法が異なるため、厳密な物差、もしくはPANDUITのプラスチックテンプレートを使用してください。



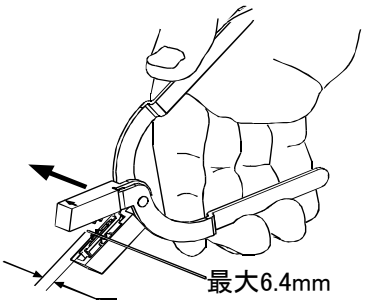




版	制定	作成	承認
C	2008年4月15日	久保	今野

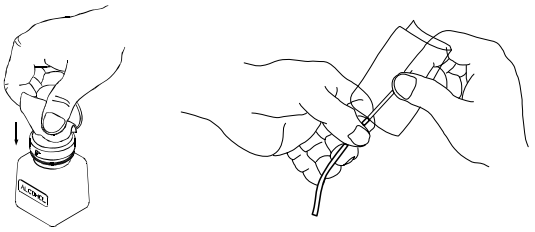
FBFSP使用方法

・ファイバーが折れないよう、1回の作業で6mm程度剥くようにします。詳しくはケーブルメーカーのガイドラインを参照してください。
・バッファーを剥く方向に、工具の矢印が向くようにストリッパーを持ちます。
・工具の刃の位置に注意して“V”溝にファイバーを合わせます。
・使用後はストリッパーの刃を、柄を開いて刃からケースを離して清掃してください。



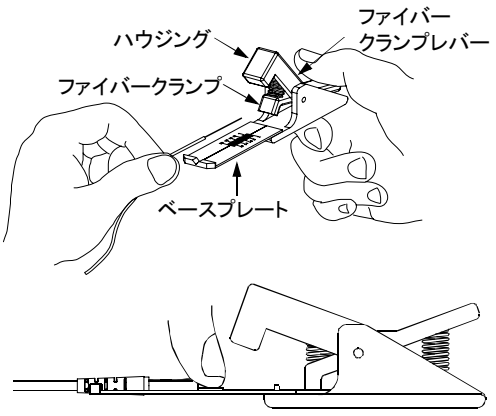
6. ファイバーをカットする

6.1 ファイバーカッター(FJQCVR)が清潔で使用可能な状態か確かめてください。



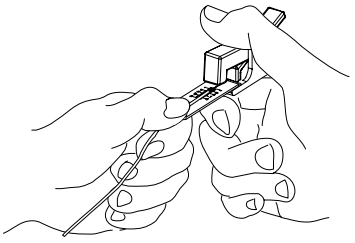
6.2 ファイバー心線をアルコールに浸したワイプで清掃します。清掃後はファイバーにホコリなどが付着しないよう注意してください。

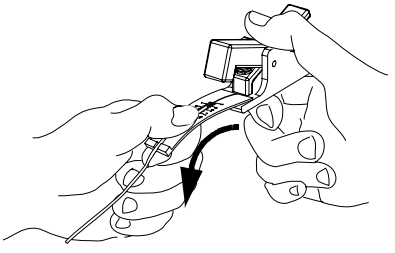
6.3 ファイバーカッターを手に持ち、ファイバークランプレバーを押してファイバークランプを上げます。ファイバーの終端を、ファイバークランプの下にあるV溝に挿入します。ファイバーの終端が7mmのマークの所にきたら、ファイバークランプレバーを離します。

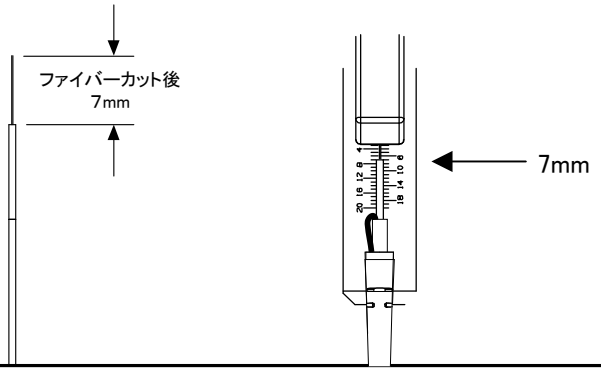


6.4 ベースプレートの溝に沿ってファイバー心線をセットします。図のように片手でファイバーを保持しながら、もう片方の手でハウジングを、先端のセラミック刃がファイバーに当たり、ハウジングがベースプレートに当たるまで下します。
ファイバー心線をセラミック刃で切らないでください。ファイバーにこれ以上刃が接触しないようにハウジングから手を離してください。

6.5 ファイバーを保持したまま、図のようにベースプレートをゆっくりと曲げ、心線をカットします。ファイバーが汚れないよう、清掃後は管理に注意してください。
重要:カット後はファイバーを清掃しないでください。セラミック刃の交換目安は1,000回使用毎です。交換刃(FJQCVRB)を用いて交換してください。







OPTICAM LCコネクタ

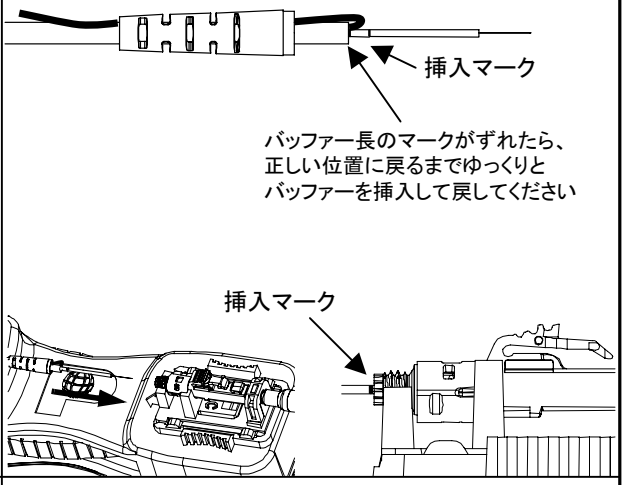
製品番号: FLCSMCXAQY、FLCDMCXAQY、FLCSMC5BLY、FLCSSCBUY、FLCDMC5BLY、FLCSMC6BLY、FLCDMC6BLY、FLCDSCBUY、FLCSMC5BLY-C、FLCSSCBUY-C、FLCSMCXAQY-C

Panduit Corporation Japan Branch

7. ファイバーの挿入

7.1 バッファー長のマークが、ジャケットの端にあることを確認してください。ずれている場合はマークが合うまでファイバーをゆっくり押し込んでください。

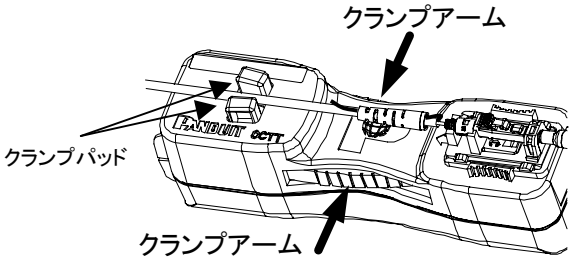
7.2 一定の圧力を加えながら、ファイバーが突き当たるまでコネクタ本体に挿入します。強く挿入するとファイバーが破損する恐れがあります。ファイバーは真っ直ぐに挿入してください。挿入ポイントがコネクタの終端と同位置にこない場合は、ファイバーをコネクタから引き戻し、カット長を確認してください。ファイバー長が7mm以下の場合は手順5に戻ってください。カット長が7mmであれば、ファイバーを回転しながらコネクタに挿入してください。



8. ケーブルの固定

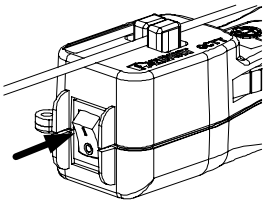
クランプアームを握り、クランプパッドを開放します。その後、クランプアームを離し、ファイバーが真っ直ぐになるように固定します。固定した後、挿入ポイントが移動していないことを確認します。

注:ジャケットケーブルの成端では、クレードルを動かさないでください。



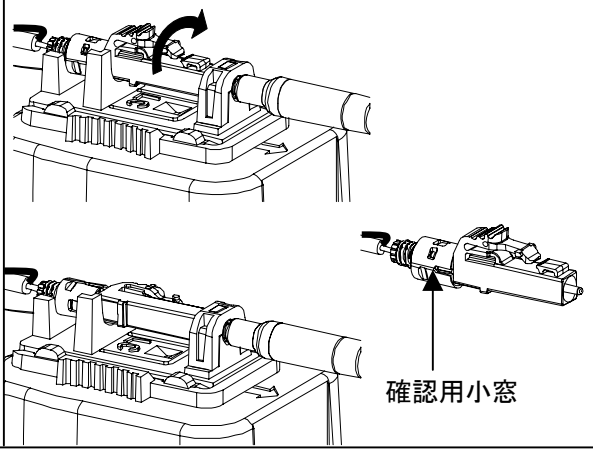
9. レーザーのスイッチを入れる

OCTTツールのスイッチを“I”(オン)にします。挿入したファイバーが正しい位置にセットされていれば、コネクタ部が僅かに赤く光ります。通常、シングルモードファイバーは、マルチモードファイバーと比較すると明るく光ります。



10. コネクタをかしめる

コネクタを90度回転させます。コネクタ内の光は殆ど変化がないか、もしくは減少します。もし、光が明るくなるようであればレーザーのスイッチを切り、手順7よりやり直してください。それでも改善しない場合は、手順5よりやり直してください。



11. レーザーのスイッチを切る

OCTTツールのスイッチを“O”(オフ)にします。パッチコードのフェルールアダプタをコネクタから取り外します。

12. パッチコードにダストキャップを取り付ける(該当パッチコードのみ)

OPTICAM LCコネクタ

製品番号: FLCSMCXAQY、FLCDMCXAQY、FLCSMC5BLY、FLCSSCBUY、FLCDMC5BLY、FLCSMC6BLY、FLCDMC6BLY、FLCDSCBUY、FLCSMC5BLY-C、FLCSSCBUY-C、FLCSMCXAQY-C

Panduit Corporation Japan Branch

13. ケーブルの解除

クランプアームを握り、クランプパッドからファイバーケーブルを取り外します。
注:コネクタはクレードルに取り付けられたままなので、過度に引っ張らないでください。

14. コネクタの取り外し

コネクタをクレードルから外します。

15. ファイバー屑の除去

ファイバーカッターに残されたファイバー屑を取り除きます。ファイバー屑は適切に処理してください。

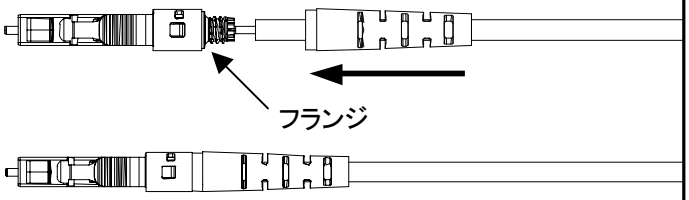
16. ブーツとコネクタの取り付け

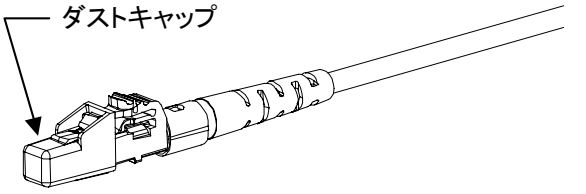
16.1 ブーツを後方へスライドし、アラミド繊維を広げます。フランジから約5mmの所でアラミド繊維をカットします。

16.2 フェルールアセンブリのバックボーンの溝の周りにアラミド繊維を均一に広げます。ピンセットを使用することをお薦めします。ケーブルジャケットとバックボーンの間には僅かな隙間が出来ます。

16.3 ブーツを前にスライドし、フランジにしっかり取り付くまで回します。フランジ部分からアラミドが僅かに飛び出している状態が最善です。

16.4 アルコールに浸したワイプでフェルールを清掃し、その後乾いたワイプで拭きます。フェルールの終端にダストキャップを取り付けます。



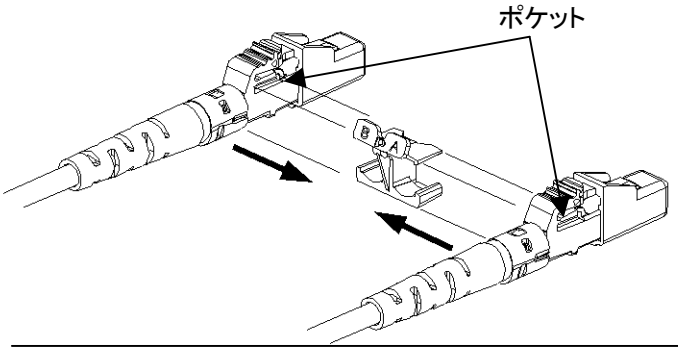


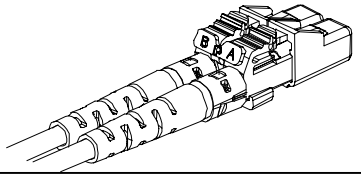
17. デュプレックスクリップを取り付ける

17.1 図のように、デュプレックスクリップの片方のコネクタをはめます。クリップの上のタブはコネクタのラッチの下にあるポケットに、下のタブはコネクタハウジングの下にはまるようになっています。

17.2 同じ様にもう片方のコネクタをはめ、デュプレックスにします。

注:ケーブルアセンブリを作る際、"A->B"の向きに注意してください。





18. 再成端

コネクタは再成端可能です。バックボーンからブーツをスライドして戻し、ダストキャップを外します。ラッチが横に向いた状態でコネクタをLCクレードルにスライドしてはめます。クレードルのフランジにバックボーンがはまっている状態が、コネクタが完全に挿入されている状態です。コネクタを90度回転させて起こします。確認用小窓の緑が消えます。ファイバー心線を取り出し、手順1よりやり直してください。